

大槌町教育委員会だより



育てよう魅力の花

こころの授業

釜石地区小・中学校長会
小学校部会長 大槌町立吉里吉里学園小学校校長
今野 利恵子

「おはようございます。」

毎日、子どもたちはスクールガードや地域のみなさんに見守られて元気に登校している。夜になると、保存会の方々の指導のもと郷土芸能の練習をしている。体育館に笛や太鼓の音が響く。本校の子どもたちは、様々な場面でたくさんの地域の方々にお世話になりながら成長しているのだと思う。

四年生の授業を参観したときのことである。「これからみなさんは自分の思いや考えを話す機会が多くあります。話は練習すれば上手になります。その時、相手の話をしっかり聴くことができる学級でなければなりません。そのために今日は、話の聴き方について学習したのです。」「こころの授業」の最後にスクールカウンセラーが話した言葉である。

「こころの授業」は、ふるさと科の中で生き方・進路指導・防災教育の領域に位置づけられており、全学年が、学期に一回ずつ（年三回）を行うこととしている。この



日の四年生の「こころの授業」は、話し手が安心して話せる聞き手の聴き方どのような姿かを考える授業であった。授業を通して児童は、「優しくなづくこと」「最後までしっかり聴くこと」「目や顔を見ながら思いを受け止めること」の大切さを学んだ。東日本大震災以降沿岸部には巡回型カウンセラーが配置された。震災津波で心にダメージを負った児童生徒の心のサポートを図るためである。昨年度の「心とからだの健康観察」の調査結果によると、「要サポート」の割合は低くなってきているものの、震災時に乳幼児だった沿岸部の小学校低学年の割合は内陸部に比べて高い傾向があるという。大人が抱えたストレスによる間接的な影響があったのではないかとみられる。東日本大震災から八年が経過したが、子どもたちの心のケアはこれからも必要である。そのためにも、自分の心を見つめること、そして自分自身でできる心の調整の仕方や、互いを認め合うことなどを学べる「こころの授業」はとても重要だと思う。最近、親から子どもへの虐待や家族間での殺傷事件など悲しいニュースを多く目にし、心が痛む。傷が深いほど話すには勇気がいると思う。少しでも傷ついた子どもたちの心を受け止めてあげられるように、子どもたちが安心して話をできる聞き手でありたい。四年生が「こころの授業」で学んだように。



時代の変化とともに、ストレスを抱える子どもたちは増えてきているように思う。子どもたちが心の力をつけていけるように「こころの授業」の充実に努めていきたい。
(校長会会報より)

地域の方々とともに魅力ある文化祭を目指して 大高祭2019「煌～青春時代～」

10月20日（日）に大高祭2019が開催されました。今年は「煌～青春時代～」をテーマに、工夫を凝らした様々な企画・展示が行われました。

一般公開の前に、19日は開会式と校内公開、中夜祭が行われました。開会式では、生徒会が「青春」をテーマに作成したオープニングムービーの上映、「ミスター・ミス大高」の発表、音楽選択者による合唱や吹奏楽部による演奏が披露されるなど、盛りだくさんで活気溢れるスタートとなりました。

今年の大高祭は「地域の方々を楽しませる魅力ある文化祭」を目指して、地域の方々のお力を貸していただきながら新しい企画にもチャレンジしました。1,2年生が学年を超えた横断チームを作り、①お化け屋敷、②健康コーナー&アームレスリング大会（King8・佐藤陸さんご協力）、③緑日コーナー、④木工工作・実験室（吉里吉里国の皆さまご協力）、⑤鮭のちゃんちゃんとすっくうどんのお振る舞い（漁協女性部の皆さまや藤原ティ子さんご協力）、⑥総合探究/総合学習展示を実施しました。

また、3年生は各クラスによる模擬店での食品販売を行いました。最学年としてクラスが一致団結しながら準備から調理・販売まで主体的に取り組んでいました。地域の方々のご協力のおかげもあり、当日は約390名の方にお越しいただくことができました。



SIMおおつちで町の未来を考える 大槌町役場フィールドワーク

10月29日（火）に総合的な探究の時間の活動で、大槌町役場へのフィールドワークを実施しました。

1学年の総合的な探究の時間では、夏休み明けからの約3ヶ月で行政が行う事業を学び、シミュレーションゲームを通して体験する「SIMおおつち」という取り組みを行なっています。生徒たちは6つの仮想部局（地域活性化部・産業振興部・健康福祉部・防災環境部・教育文化部・復興未来部）に分かれ、各部局ごとに3つずつ行政事業の調べ学習を行ってきました。今回は、調べ学習をする中で出た質問を持って大槌町役場にお伺いし、各課長や職員の皆さんに回答・助言をいただきました。

生徒たちの質問に役場の皆さんも熱心に分かりやすく回答していただき、机上での調べ学習だけでは実感できない事業を行う価値やそれを予算の中で推進していく難しさを改めて知る機会となりました。



大槌高校だより

大槌高校の学校生活や日々の様子を町民のみなさまにお伝えします！

大槌・釜石の企業へ訪問 企業見学会

10月25日（金）に沿岸広域振興局主催の企業見学会に2年生が参加しました。午前中は全員で日本製鉄（株）釜石製鉄所と釜石地方森林組合へ訪問、午後はコースごとに分かれて（株）千田精密工業大槌工場と（株）津田商店を訪問しました。製造現場の見学はもちろん、管内出身の入社1年目～3年目の若手社員の方々と交流会も開催していただき、卒業後の進路へのイメージを深める機会にもなりました。

